

第 6 1 回「電波の日」総務大臣表彰

1 個人：3 件

(敬称略：五十音順)

氏名	功績の概要
エンリケ・コルネホ・ラミーレス (59 歳) ペルー共和国 運輸通信大臣	スペイン語圏中南米諸国で初めてとなる地上デジタルテレビ放送日本方式 (ISDB-T) 採用決定に尽力し、各国の方式決定プロセスにも大きな影響を与えたほか、日本を含む 5 か国大臣による同方式の国際展開での協調を謳った「リマ宣言」の採択に寄与し、中南米における同方式の採用国拡大に多大な貢献をした。
こだて かしこ 小館 香椎子 (70 歳) 日本女子大学 名誉教授	多年にわたり、電波監理審議会委員及び同会会長代理として、電波及び放送に関する重要事項の調査審議に公平かつ的確な判断と有益な助言を行い、我が国の情報通信行政の発展に多大な貢献をした。
よしだ すすむ 吉田 進 (62 歳) 京都大学大学院 情報学研究科 教授	多年にわたり、移動体通信において品質劣化の主な原因となる多重波伝搬特性の解明に尽力し、今日の高速度移動体データ通信の発展に寄与した。また、無線 LAN の健全な利用を促進するためのガイドライン作成に中心的役割を果たすなど、電波利用の推進に多大な貢献をした。

2 団体：2 件 (3 者)

団体名 (代表者名)	功績の概要
すずし 珠洲市 (市長：泉谷 満寿裕)	地上アナログ放送終了リハーサル地域として、昨年 7 月 24 日に地上デジタル放送への完全移行を全国に先駆けて実現し、本年 7 月 24 日に予定されている全国規模の完全移行に向け、その課題の検証に寄与し、地上放送のデジタル化の推進に多大な貢献をした。
の と ち ょ う 能登町 (町長：持木 一茂)	
いっばんしゃだんほうじんでんばさんぎょうかい 一般社団法人電波産業会 デジタル放送システム開発部会 デジタル受信機作業班 緊急情報伝送タスクグループ (リーダー：高田 政幸)	地上デジタルテレビジョン放送における緊急地震速報の伝送の高速化に向けた検討を行い、アナログ放送とほぼ同程度まで高速化する手法を取りまとめ、その手法の導入を可能とすることで、地震に関する速やかな情報提供による多くの国民の安全安心の向上に多大な貢献をした。